



## PCR 検査を体験して



N P O 法人 檀原市手をつなぐ育成会 T・Iさん

9月16日(水) 体調異常

朝食時、長男 K (45歳) がいつもは残したことの無いトーストを「半分残してもいいか? 」と尋ねる。熱もなく、果物等は完食したので、あまり気にもかけず作業所へ送り出した。

午前 11 時頃、作業所より電話があり、K が吐いた、熱はなしとのこと。

すぐに迎えに行ったが、顔色も悪く、かなりしんどそうな感じ。

帰宅後、すぐに横になり、夕方まで眠ったが、起きた時 38 度 9 分の発熱。

すぐにかかりつけの内科医院に電話。やはりコロナ禍とのこと、発熱のため受診は出来ないので、電話で症状を伝え、医師より、処方箋を薬局に FAX しておくので、ドライブスルーで取りに行くようにとの指示。そして家庭内でも家族もマスクをするように。その間に K は発汗とともに、既に熱は解熱。医師からは、「発熱がある場合、作業所から、PCR 検査を受けるよう指示されることがあるので、その場合はすぐに紹介をします。」と言われた。

夕方、状況を作業所に連絡。作業所で、同症状の方は居ないかとの確認もしたが、特になしとのこと、検査への指示は受けず。

その夜は内服薬のみで様子を見ることに。吐き気は続き家族ともども眠れない夜でした。

コロナ禍でなければ、「熱も下がり良かったね」で済むところを、私は万が一のことを考え、使い捨て手袋をつけて K の使った食器やタオルを消毒しながら、何でこんなことをと、見えない敵コロナを本当に憎く思いました。

9月17日(木)

第1 関門～検査を受けさせる決意・説明～

翌日は発熱もなく元気も出てきたので、医院へ電話にて状況を伝える。医師は「作業所へ行かせてもいい」とのことでしたが、私は、発熱した当初時点でコロナとの関連を不安に思っていたので、「その疑い(コロナ)は大丈夫ですか」と尋ねました。

医師は「コロナに感染していても、無症状の人も居るくらいだから、何とも言えない」「気になるようなら検査を受けておきますか? すぐ手配をしますよ」と言われたので、私は一瞬の迷いもありましたが、作業所でのクラスターなどに繋がってはとの思いと、不安な気持ちを引かずのもいやだ、との判断で検査を受けさせる決意をしました。

まず手配に必要な内容として、医師より K を乗せていく車の車種、ナンバー、色、私の携帯番号を訊かれました。

K には検査のことを分かるように説明をし、納得をさせましたが、最近、不安定な状況にもあり、親の予測の出来ない状態になることもあるので、どのような反応を示すか、と心配でしたが納得してくれたことで、PCR 検査までの第1 関門突破です。



第2 関門

医師が保健所に連絡していただき、30 分ほどで、中和保健所から私の携帯に連絡が入りました。

既にかかりつけ医師より伝えられている K の症状を確認され、検査場所への案内、注意事項、持ち物について等、

丁寧に説明がありました。

「何か不明な点や気がかりなことはありませんか」勿論、障害を持っていることも伝えていましたが、重ねて私は息子には障害があるので、そのことを認識いただいた上での対応をお願いしたいと伝えました。その時、不安に思っているこちらの気持ちをほぐすかのような、温かな対応で答えてくださったのが大変嬉しかったです。

### 午後3時。PCR検査（ドライブスルー）

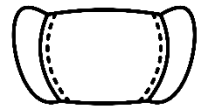
検査場は倉庫のような広い場所で、まず車の窓は絶対に開けないように、しゃべらないようにとの指示があり、車を進めます。5～6人の防護服をまとった検査員が対応され、必要事項はすべて、車外から、プレートに書かれている内容を見せられ、それに対してジェスチャーで答えます。

窓を少し開けるように指示があり、問診表と検査後の注意事項を記入したものを、渡され、すぐに窓を閉めて、自分のペン（事前に持ってくるように指示あり）で記入し、フロントガラスの前に、持参した保険証と共に置き、それを車外から、検査員が写真を撮り、OKサインをされます。



再び窓を少し開ける指示があり、酸素濃度測定のために、人差し指を出すよう指示があります。Kには鼻からの摂取のことは話しておいたのですが、この検査のことは、伝えてなかったことで少し戸惑っていましたが、何とか無事にできました。この時の数値も検査官が窓越しに見せてくれて自分で記入します。

次はいよいよ検体採取です。マスクをずらして鼻だけ出し、口は出さないと指示、そして頭をヘッドレストに置いて、まっすぐ前を見てくださいと、すべて、プレートでの車外からの指示なのです。やはり本人は緊張気味でしたが、わたしの説明に従い何とかスムーズに検査することが出来ました。親子共々、初めての経験で緊張の連続でしたが、検査場に到着してから、検査終了までの所要時間は約10分くらいでした。



費用については、後日、陰性が確定してから、病院会計窓口、または振込（事前に金額問合せ）となります。PCR検査は公費負担ですが、初診料等が必要となり、大体2～3千円程度でした。第2関門突破です。

### 第3関門～結果待ち～

作業所へ、PCR検査を受けてきたことを伝えたところ職員もまずは安心された様子でした。

作業所を利用している者として、迅速な判断で行動したことは、当然であり、責任であったと思っています。結果が出るまでは何とも言えないしんどい時間でしたが、翌日午前11時にマイナス陰性との連絡があり第3関門突破です。もし陽性だったらと思うと、涙が出るくらい嬉しかったです。

### ふりかえって・・・

検査を希望してから、医師→保健所→検査実施→結果報告と、以前報道されていたようなトラブルもなく経過したことに関係機関への感謝の思いです。今後も、発熱があると付きまとう、コロナ感染不安とPCR検査ですが、障害があるからこそ、早く手を打つことが大切であるし、勇気を出して行動することが大切と感じました。

そしてかかりつけ医を持つことの重要性。どんな困難な時でも、親の真剣な思いと信頼、感謝が伝われば、障害への理解も深めてもらえると信じています。

今回の体験を通し、1日も早いワクチン接種の実現を願いつつ、ウィズコロナの日々、誰もがかかる可能性があるとの思いで生きて行かなければならないこの時に、罹患した人やその家族に非難中傷が及ぶような二重の苦しみを負わせる社会であってはいけないと強く感じました。